

## 「魅力ある母親教室の運営について」

講師 佐藤香代(助産師)

国際医療福祉大学 福岡看護学部 教授

梅雨空の中、雨の予想が外れた 6 月 25 日に佐藤先生の講座を開催しました。

会場には、20 代の助産師学生から 60 代ベテラン助産師まで総勢 68 名の参加者の熱気で一杯でした。

参加者の参加目的は次の様なものでした。

助産師学生は、授業の一環として、勤務助産師は現在の母親教室に対して運営等の悩みを抱えより良い母親教室運営が出来るヒントを得るため。また佐藤先生が、長年実践されて来た「世にも珍しいマザークラス」とはどんなものか？この点にも参加者の興味はあった様子です。



初めに、指導型の母親教室でいいのか？知識伝達・指導型妊婦教育への疑問が投げかけられました。実際に母親教室を行なっている助産師は、教室を楽しんでいるのか？参加している妊婦さんは楽しんでいるのか？今実際に行なっている母親教室への疑問がいっぱいです。助産師が楽しい教室でないのに、参加している妊婦さんはもっと楽しく無いのではないのか。助産師とは何かをも考えさせられる講座内容でした。

妊娠中から楽しいと思わなければお産や子育ても楽しいものにならない為に、妊婦自身から自然と楽しいという気持ちが出てくる環境づくりの必要性を感じました。お産時に必要な、オキシトシンが妊娠中から出てくる環境づくりとは何か。妊婦さんからゆっくりと話を聞く事は、妊婦の妊娠中の恐怖やストレスを軽くし、ひいては子育てを楽しみ、お腹の胎児へ関心との母子の絆づくりにも役立つ大切な事である事を、私たち助産師が忙しさで忘れていたのではないのでしょうか。

講義には氣功が行われ、呼吸を合わせる事の大切さも学びました。氣功は、受講者には好評でした。

ドゥーラとしての助産師の役割とはどんなものか。母親教室の運営だけでなく、喋りすぎ気味の助産師

は、静かに見守るだけ。黒子としての助産師に徹することの大切さ等、助産師としての妊婦への働きかけを見直すことが出来た良い機会を頂けた講座内容でした。

佐藤先生、有意義な時間をありがとうございました。



平成 29 年度 第 2 回助産塾スキルアップ研修会 平成 29 年 7 月 23 日

「産後ケア」現状と今後の課題 講師 豊田晴子(助産師)

一般社団法人 産前産後サポーター協会

産前産後サポーターセンター 心ゆりり 代表理事

7 月に入り猛暑が続いていますが、本日も気温 30 度を超える中、豊田先生の講座が開催されました。参加者は、会員 24 名、非会員 25 名、学生 1 名でした。参加者の中には、今後、産後ケア事業を開業しようと考えておられる方や勤務病院で産後ケアを行うことになったため学びに来たという方もおられました。

前半は、豊田先生が代表理事をされている一般社団法人「心ゆりり」の開設にあたり大変苦労された話し、また運営及び活動されている今現在も経営において厳しい状況であるという現状のお話がありました。

後半は、豊田先生から産後ケアについてのみんなの考えが聴きたいとのことで、ディスカッション、フリートークという形式となりました。

病院勤務の方からは、“地域に戻った時にやってみたいことがある。連携がとれていたら紹介しやすい”という意見がありました。豊田先生からは、ご自身の経験から市町村、警察、児童相談所…など地域と仲良くなっておくことはとても大事であり、産後ケアの中には、繋ぐ、インフォメーションの役割もある、とお話がありました。しかし、今現在、福岡県内の市町村では、産後ケアのシステムがまだ整っておらず助成制度も市町村によって違いがある。行政が考える産後ケア事業と助産師が考える産後ケア事業には大きな違いがあるため、活発な活動に繋がらないのだと言われてました。

上野会長からは、福岡県助産師会の委託事業として産後ケア事業を申請しているが平成 32 年までに立ち上げないと支援金が出ないと、というお話でした。アンケートの記載の中には、今後、産後ケア事業で開業を考えていたが現状を知り難しく感じる、と書かれている方もおられました。

まとめとして豊田先生の講義資料の文章を記します。

「産後ケアを充実させる為には、助産師がリーダーシップを取り、手を組み地域の産後ケアに関連する業種あるいは地域の方々を巻き込んだケアを行うことがより地域密着性型の末長いケアの実現に結びつくのではないかと考えます。それにより、孤育て防止・虐待防止・出産率アップ・離婚率の低下 etc…社会に良い結果を生み出し助産師が支える。地域社会の発展に繋がるのではないかと思います。」

私たち助産師が一致団結して福岡県の産後ケア事業を充実させていかなければと考えます。

本日は、大変お忙しい中、貴重なお話しをして頂きありがとうございました。



文責 教育委員 吉柳裕子